



山形県公報

平成22年8月17日（火）
第2169号
~~~~~  
毎週火・金曜日発行

## 目次

### 公 告

○山形県県民栄誉賞受賞者の事績……………（秘書広報課）…929

## 公 告

○ 山形県県民栄誉賞規則（平成9年2月県規則第2号）第2条の規定により山形県県民栄誉賞を贈った者の事績は、次のとおりである。

平成22年8月17日

山形県知事 吉 村 美 栄 子

### 事 績

氏 名 いのうえ 井上 ひさし 慶

昭和9年11月、山形県東置賜郡川西町に生まれる。

昭和31年、上智大学在学中から浅草の劇場の台本を書きはじめ、以来、「ひょっこりひょうたん島」、「手鎖心中」、「吉里吉里人」、「シャンハイムーン」、「太鼓たたいて笛ふいて」など数多くの戯曲や小説の名作を発表した。

その間、直木賞、吉川英治文学賞、菊池寛賞をはじめ幾多の賞を受賞するとともに、平成16年には文化功労者、平成21年には日本芸術院会員となるなど、日本を代表する劇作家・作家として長年にわたり多彩に活躍し、時代に流されない独自の社会観とユーモアに溢れたその作品は、県民、国民に広く愛されている。

県内においても、様々な活動を通して、本県の芸術文化の振興に多大な貢献を果たした。その主なものを摘記すれば、次のとおりである。

昭和62年には、自身の蔵書の寄贈により川西町に「遅筆堂文庫」を開設した。現在の蔵書数は22万冊に及び、平成20年には山形市に「遅筆堂文庫山形館」も開設した。

昭和63年からは、「生活者大学校」を開校し、県内外の多くの若者を対象とした農業・経済・教育などの講座を継続して実施している。

さらに、ふるさと川西町小松の地名から名付けられた自身の劇団「こまつ座」の戯曲を、県内でも数多く公演している。

平成15年には、「国民文化祭やまがた2003」において、開会式・閉会式の特別プロデューサーを務め、母なる川「最上川」を介して様々な文化が育まれてきたことを踏まえ、水の大切さを考える祭典として、大会を成功に導いた。

このような活動等のため、自らが幾度となく県内に足を運ぶなど、ふるさと山形への強い思いが溢れた氏の功績は、県民に希望と活力を与える顕著なものであり、広く県民が敬愛するところである。

平成22年 8月17日印刷  
平成22年 8月17日発行

発行所 山 形 県 庁  
発行人 山 形 県

〒990-0071 山形市流通センター一丁目5-3  
印刷所 坂部印刷株式会社  
印刷者 坂部 登  
電話 山形(631)2057 (631)2056